



2024年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年12月12日

上場会社名 神島化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高橋 誠

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 2023年12月12日

配当支払開始予定日

2024年1月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の業績(2023年5月1日～2023年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	12,612	9.9	893	15.8	875	16.8	654	5.4
2023年4月期第2四半期	11,478	10.6	1,060	7.5	1,052	8.9	621	17.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	72.36	71.97
2023年4月期第2四半期	68.76	68.39

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	30,683	11,084	35.9
2023年4月期	29,389	10,558	35.7

(参考)自己資本 2024年4月期第2四半期 11,025百万円 2023年4月期 10,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		20.00		20.00	40.00
2024年4月期		21.00			
2024年4月期(予想)				21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,700	7.1	2,200	1.5	2,200	2.7	1,600	4.4	176.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期2Q	9,240,000 株	2023年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2024年4月期2Q	187,053 株	2023年4月期	198,235 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期2Q	9,046,557 株	2023年4月期2Q	9,033,132 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更された影響などにより、経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は緩やかな持ち直しが見られました。一方でロシアによるウクライナ侵攻の長期化、円安の進行、原材料やエネルギー価格の上昇、物価上昇による個人消費の伸び悩みなどにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、持家、貸家及び分譲住宅の全てが減少し、当第2四半期累計期間では415千戸と前年同四半期比6.2%の減少となりました。

このような経営環境の中、当社は、『旺盛な需要に対応した設備投資の拡大と持続的成長モデルの構築』、『建材と化成品のハイブリッド技術による脱炭素社会への「ハイエンド商品の追求」と「収益の極大化」』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は12,612百万円と前年同四半期比1,133百万円(9.9%)の増収となりました。営業利益は893百万円と前年同四半期比167百万円(15.8%)の減益、経常利益は875百万円と同176百万円(16.8%)の減益、四半期純利益は654百万円と同33百万円(5.4%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建材事業

住宅分野は、当社の強みである「基材の強み」に「塗装技術」を掛け合わせた高付加価値製品の高級軒天ボードが販売数量、売上高共に大幅に増加しました。

非住宅分野は、都市型高層ビル用の耐火パネルが工事の遅れにより減少しました。

これらの結果、売上高は7,096百万円と前年同四半期比179百万円(2.6%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、値上げや高付加価値製品の高級軒天ボードの拡販を進めましたが、燃料費や原材料価格の上昇や固定費増加により、497百万円と同80百万円(14.0%)の減益となりました。

②化成品事業

マグネシウムは、酸化マグネシウムが米国市場の一時的な在庫調整はあったものの、国内外の難燃水酸化マグネシウムの販売増により増収となりました。また難燃水酸化マグネシウム、酸化マグネシウムの増産設備については当第2四半期累計期間内に完成し、稼働開始しております。

セラミックスは、主要製品の蛍光体や蓄冷材が堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、売上高は5,516百万円と前年同四半期比953百万円(20.9%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費や原材料価格の上昇や固定費増加により、値上げや拡販による増収を図りましたが、吸収するには至らず、725百万円と同41百万円(5.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は30,683百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ1,293百万円増加いたしました。主な増減要因は、有形固定資産が2,406百万円増加、現金及び預金が843百万円減少したことによるものであります。

負債は19,598百万円と前年度に比べ767百万円増加いたしました。主な増減要因は、短期借入金が増加、電子記録債務が453百万円減少したことによるものであります。

純資産は11,084百万円と前年度に比べ525百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績につきましては、2023年6月12日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,148	1,304
受取手形及び売掛金	3,745	3,765
電子記録債権	1,223	975
商品及び製品	2,588	2,775
仕掛品	969	1,078
原材料及び貯蔵品	1,120	1,159
その他	1,019	576
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,814	11,635
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,504	5,941
機械及び装置（純額）	4,068	9,215
土地	1,381	1,384
建設仮勘定	4,720	455
その他（純額）	626	710
有形固定資産合計	15,301	17,708
無形固定資産	58	66
投資その他の資産		
投資有価証券	311	360
繰延税金資産	796	789
その他	106	125
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	1,215	1,272
固定資産合計	16,575	19,047
資産合計	29,389	30,683

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,332	1,714
電子記録債務	1,508	1,055
短期借入金	5,100	6,900
1年内返済予定の長期借入金	822	694
未払法人税等	338	233
賞与引当金	397	423
製品保証引当金	184	162
設備関係支払手形	18	0
設備関係電子記録債務	1,498	2,057
その他	2,058	2,167
流動負債合計	14,259	15,408
固定負債		
長期借入金	2,043	1,714
退職給付引当金	1,896	1,919
訴訟損失引当金	16	31
その他	615	524
固定負債合計	4,571	4,190
負債合計	18,831	19,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,081	1,086
利益剰余金	8,253	8,726
自己株式	△234	△221
株主資本合計	10,420	10,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79	112
評価・換算差額等合計	79	112
新株予約権	59	59
純資産合計	10,558	11,084
負債純資産合計	29,389	30,683

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2023年10月31日)
売上高	11,478	12,612
売上原価	8,154	9,383
売上総利益	3,324	3,228
販売費及び一般管理費	2,263	2,335
営業利益	1,060	893
営業外収益		
受取配当金	9	8
物品売却益	8	6
その他	10	12
営業外収益合計	28	27
営業外費用		
支払利息	29	38
その他	6	6
営業外費用合計	35	45
経常利益	1,052	875
特別損失		
工場構築費用	98	—
訴訟関連損失	40	—
訴訟損失引当金繰入額	—	14
固定資産除却損	32	17
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	173	32
税引前四半期純利益	878	843
法人税、住民税及び事業税	253	195
法人税等調整額	4	△7
法人税等合計	257	188
四半期純利益	621	654

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,916	4,562	11,478	—	11,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,916	4,562	11,478	—	11,478
セグメント利益	577	767	1,345	△284	1,060

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△284百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△284百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,096	5,516	12,612	—	12,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,096	5,516	12,612	—	12,612
セグメント利益	497	725	1,222	△329	893

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△329百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△329百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。